

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2016. 8
No.276

イナテックはなぜ『TPM優秀賞』に

挑戦し続けるのか

イナテックが「TPM優秀賞」に挑戦し続けるのは、TPMをイナテックの文化にするためです。2016年6月時点で、2013年に「TPM優秀賞カテゴリーA」を受賞した事を知らない人(その時に在籍していなかった人)が、なんと45%もいるのです。

今年度「TPM優秀継続賞」に社員全員で挑戦するわけですが、例えば、今回継続賞を受賞しなかったとすると、次回は90%の社員が審査を経験したことがないという状態になりかねません。

これでは、今まで築き上げた知識や経験が振り出しに戻ってしまい、一からやり直すのと同じことになってしまいます。だから、せめて3年から5年に一度は、TPM優秀賞に挑戦しよう。そうすることによってTPMがイナテックの空気、つまり文化になるわけです。

TPM優秀賞に挑戦し続けるのは『すべてのイナテック社員が協力して、TPM的な考え方で企業体質を変える』ことが狙いだということをもう一度胸に刻みましよう。

デュポン株式会社の企業理念

「200年続く安全文化」

AW様の安全大会に参加させていただきました。松野副社長様は、安全宣言の中で次の3項目を明言されました。

- ・すべての災害は防ぐことが出来る
- ・管理者の率先垂範によるリーダーシップ
- ・全員参加の明るいコミュニケーションによる自分と仲間の身を守る安全行動

イナテックもAW様の優良仕入先として、災害のない会社を目指します。

安全大会では、デュポン株式会社の津田事業部長様の講演を拝聴しました。大変印象に残ったので、ご紹介します。

デュポン社が黒色火薬を扱っていた時代、火薬の爆発により、1815年に9名、1818年に30名死亡という痛ましい災害がありました。その後、『全てのケガは防ぐことができる』と宣言し、1818年から約200年死亡災害がないという、「安全文化」を築きました。

ゼロ災継続を可能にするポイントは、

- ・仲間に対する働きかけ
- ・仲間との相互注意
- ・仲間への思いやり
- ・積極的な情報の共有化
- ・他人に対するケア
- ・組織に対する誇り

です。また、

- ・正しいことを、その場で伝達すること
- ・Eメールに頼らず、顔と顔を合わせてコミュニケーションをすること

・通常範囲以外(プライベート)でも部下・仲間と安全の関与をすること

も大切です。

（イナテックの企業理念で伝えていることと重なるものが多いです）

津田様は、「これらをすべて理解した」「上司の安全基準」が『部下にとつての安全の最高基準』である」とはっきりおっしゃいました。上司の危険を見つめる目が低くなれば、部下はそれに倣つて低くなる。だから上司は常にマンネリ化を防ぎ、危険を見つめる感度を上げる（学ぶ）必要があります。

また、デュボン社の「しきたり」には、
・指摘を受けたら「ありがとう」と感謝し、すぐに改善する（指摘はギフトです）

・ケガや事故は報告の義務があり、すぐに報告を共有し、同じ目（ケガ・事故）に合わないようには是正する

というものがあります。

（ここにもイナテックの企業理念に出てくるフレーズがあります）

津田様は、「安全文化」を徹底し、社員や地域の方々のゼロ災を継続している会社は、どの

会社も高収益を上げています」と締めくくりました。

すばらしい『安全文化』です。

イナテックの企業理念もデュボン社と通じるところがあり、決して間違っていないと確信しました。

しかし、デュボン社はこれらを徹底しているのに対し、イナテックはまだこだわりが足りません。この講演のおかげで、気づかせていただきました。

我々もTPMを徹底し、イナテック企業理念を実行することによって『もつといい会社』を目指します。

三八

時常喧雑、則平日所記憶者、皆漫然忘去。境在清寧、則夙昔所遺忘者、又恍爾現前。可見、靜躁稍分、昏明頓異也。

騒がしくごたごたしている時には、（のぼせあがっていて、ふだんに記憶していることまで、皆うっかりと忘れてしまう。（これに反し）、さっぱりして安らかな環境にいる時には、（記憶の糸口を静かにたどって）、昔、忘れていたことまで、またありありと目前に思い出すものである。してみると、環境が静かであるか騒がしいかの、ほんのわずかな分かれで、記憶がぼんやりしたり、はっきりしたりすることが、大変に違うことがわかる。

最後に、デュボン社のこんなエピソードを紹介します。

ある休日、デュボン社会長夫人が両手に買い物袋を持って階段を昇降していました。それを見かけた社員が注意をしました。「階段を昇降する時は手すりをもたないと危ないですよ。」注意を受けた会長夫人は、「こんな注意を頂きました。ありがとうございます。」と全社員にメールでお礼をしました。

これは、事故を起こさないという信念、お互いに対する思いやり、普段からのコミュニケーション、・・・など社員への安全教育が徹底されているからこそできる行動です。

イナテックの社員もできます！